

# まちの話題

## 12/11 上志佐小学校で食育活動

松浦青年農業者会（引地昭太会長）



同会が上志佐小学校の5年生7人へ食育活動を行いました。この活動は、子どもたちの「食」や「農業」への関心を高めることを目的に毎年開催されています。

子どもたちは、崎村副会長が飼育する乳牛から取れる新鮮な牛乳を材料にプリンやチーズなどを作り、できたチーズと好きな具材をピザ生地のにせ、手作りの石窯で焼いて食べました。

子どもたちからは「おいしい、またピザを作りたい」との声があがっていました。

## 12/15 もちつきで世代間交流

里不老会（松永一明会長）



年末の恒例行事として、各地域でもちつきが行われました。

この日は、同会の24人が里子ども育成会の親子ら20人を招待。

もち米30kgを使って、まるもちやあんこもち、自家製のサツマイモを練り込んだいもちを作りました。

子どもたちは、会員からコツを教わり見守られながら杵を使ってもちをつき、世代間の交流の輪を広げました。

## 12/21 スポーツって最高！！みんなで広げる地域の⑧

第61回長崎県スポーツ推進委員研究大会

この大会は、県内のスポーツ推進委員が一堂に会し、地域におけるスポーツ振興の方策を研究することにより生涯スポーツの振興に寄与することを目的に毎年開催されています。

大会では、事例発表のほかにNHK財団エグゼクティブアナウンサーの松尾剛さん（福島町出身）による特別講演や、ニュースポーツ「モルック」の実技研修などが行われ、スポーツ推進委員の親睦と資質向上が図られました。



## 12/23 集まった「縁」 託された思いを届ける

松浦こいから隊（福田和歌子隊長）

同団体が能登半島地震災害義援金を市に贈呈しました。

11月23日（土）に主催した「第14回松浦 YOSAKOI 祭り～en～」には九州各地から17チームが参加。

各チームから受け取った参加費の一部を義援金とし、福田隊長から友田市長へ手渡されました。

義援金は市を通じて日本赤十字社へ届けられ、被災者支援に役立てられます。



## 12/25 地域を担う子どもたちのために

上志佐小学校創基150周年記念事業実行委員会（石井英治委員長）

同会から石井委員長のほか役員4人が市役所を訪れ、上志佐小学校体育館暗幕と寄附金を贈呈しました。

今回の贈呈は、創基150周年を迎えた同校の記念事業に向けて卒業生や地域の人たちから集まった寄附金の一部から寄贈・寄附され、石井委員長は「上志佐地域の伝統を受け継ぎ未来を支える子どもたちの健やかな成長のため活用してほしい」と話しました。



## 12/25 まつうらのお茶で風邪予防

JAながさき西海茶業部会 松浦地区部会（井手眞悟部会長）

上志佐保育所であいがいの緑茶の贈呈式が行われました。

同部会は、毎年市内の小中学校や保育園などに風邪やインフルエンザ予防のためのうがい茶を贈呈しています。

贈呈式では、井手部会長が「これからも元気に保育所に通えるよううがい茶を使ってください」と園児に緑茶を手渡し、きりん組とばんだ組が実際にうがいを行いました。

園児は「ありがとうございました」と元気な声で感謝の気持ちを伝えました。

